

北海道開発局記者説明会 問合せ先

北海道開発局代表電話 011-709-2311

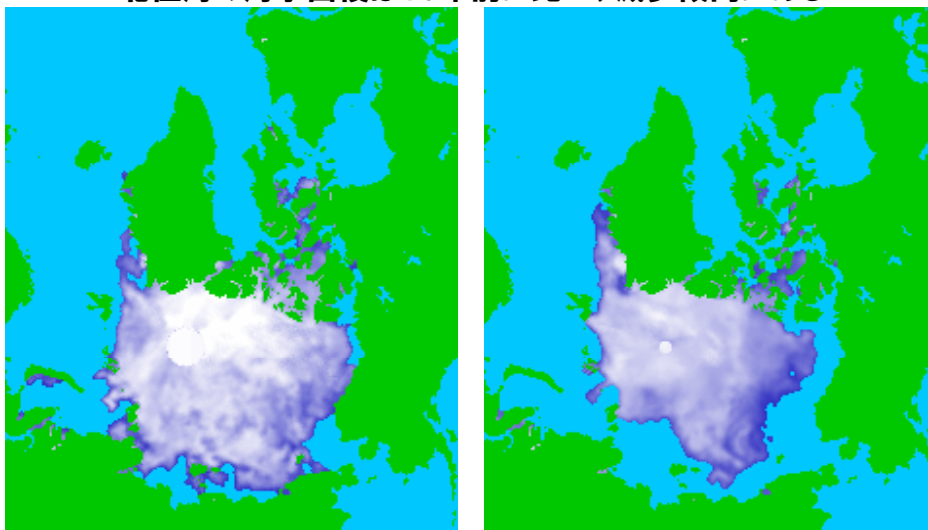
北極海航路に関するJAXA等との共同研究

【問合せ先】 港湾計画課 港湾企画官 早川 【内線5612】
調査係長 富岡 【内線5617】

北極海航路に関するJAXA等との共同研究

- 近年、北極海における海氷域面積が減少し、夏期の航行が可能になった。(6月後半～11月後半)
- 「北極海航路」はスエズ運河を経由する「南回り航路」と比較して、約6割の航行距離。また、海賊リスクも少ない。
- 北海道開発局と宇宙航空研究開発機構(JAXA)、国土技術政策総合研究所及び青森県は、船舶が発信するAIS信号の人工衛星による受信データの北極海航路整備への活用可能性を検証する共同研究を開始。

北極海の水氷面積は10年前に比べ、減少傾向にある

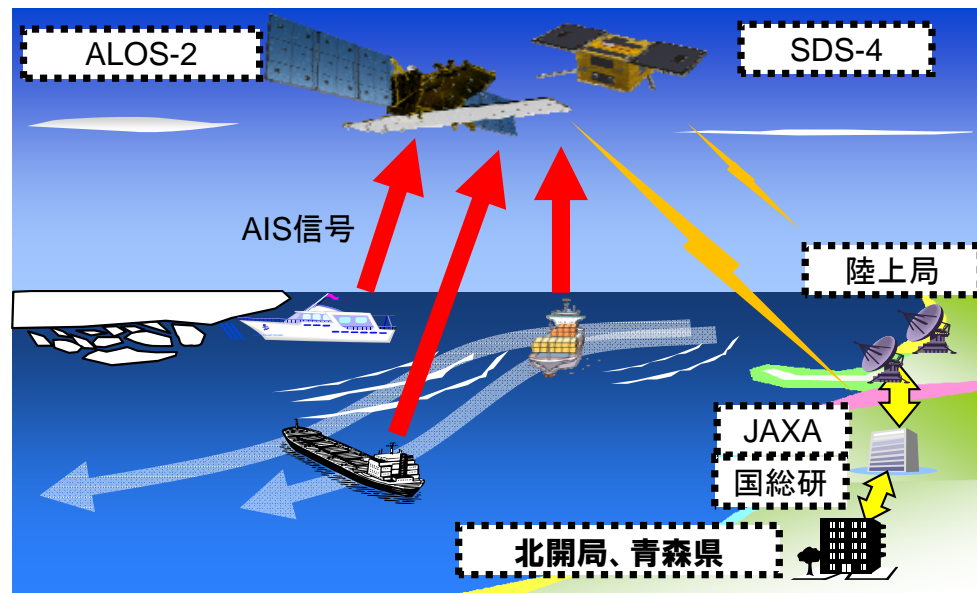


出典：気象庁HP等をもとに国土交通省作成

■横浜港からハンブルグ港(ドイツ)への航行距離の比較

北極海航路
約13,000km
南回り航路
約21,000km
☆約6割に距離短縮

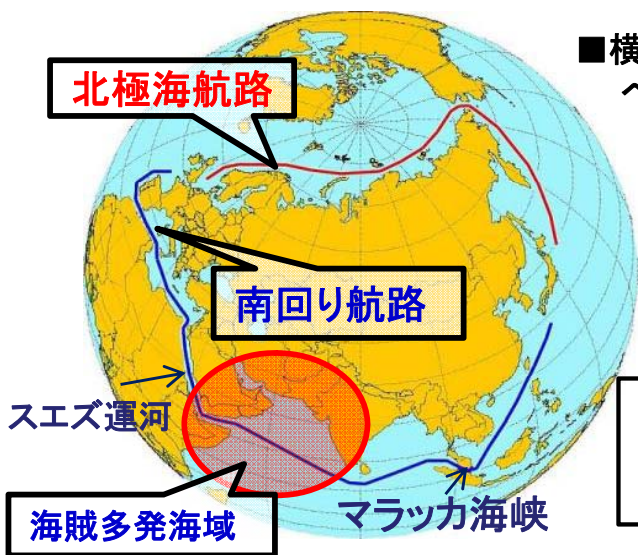
欧州とアジアを結ぶ新たな選択肢としての可能性が高まっている。



AIS: Automatic Identification System 船舶自動識別装置

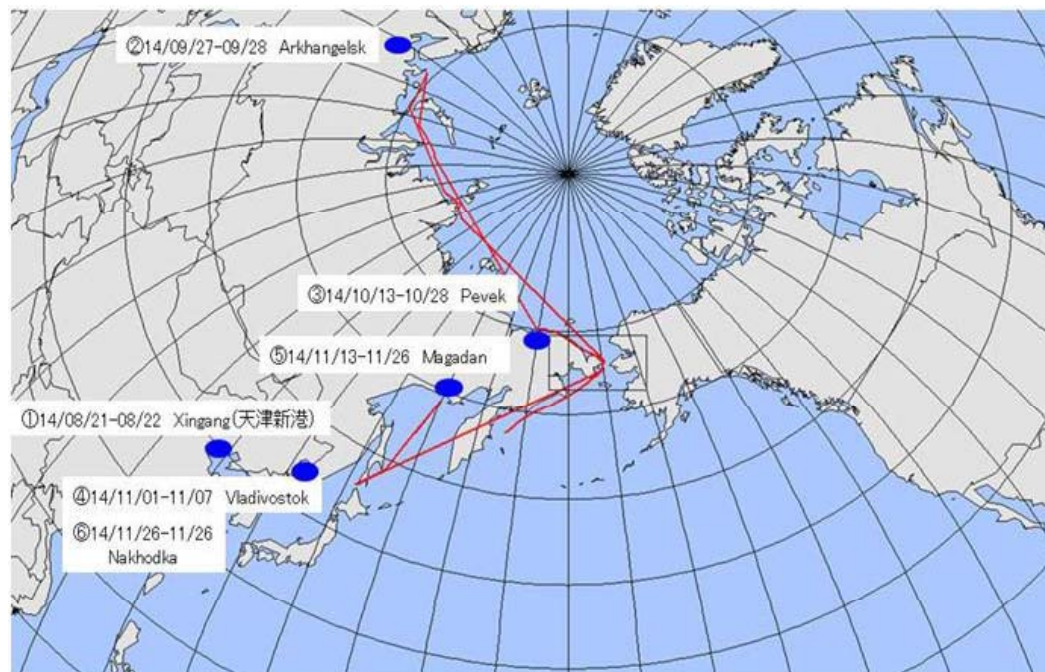
共同研究概要(研究期間:平成26年10月1日～平成27年12月31日)

- ①北極海航行船舶の航行追跡頻度、海氷把握等の評価及び改善 (JAXA、国総研)
- ②北極海航行船舶の速度把握による輸送コスト算定への活用研究 (国総研、北開局)
- ③北極海航行船舶の北東アジア海域での航路選択の把握能力評価及び拠点港整備への衛星AISデータの活用研究 (国総研、北開局、青森県)
- ④北極海、オホーツク海での調査船動静分析能力評価及び調査船基地港整備への衛星AISデータの活用研究 (国総研、北開局)
- ⑤北極海観測における衛星AISデータのマネジメントシステムの検討 (JAXA、国総研、北開局、青森県)

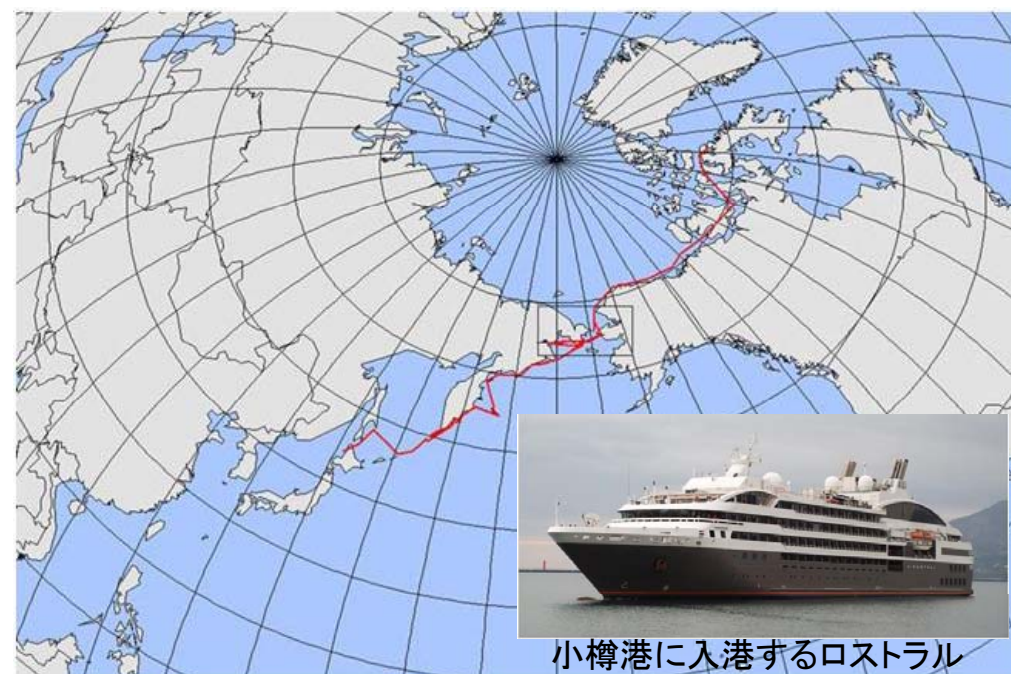


平成26年北極海航路航行船舶の分析結果

- ① 北極海ロシア側航路(North East Passage)航行船舶については、貨物船・タンカー27隻、客船1隻、調査船4隻、計32隻を把握。貨物船・タンカー27隻のうち、15隻については宗谷海峡や津軽海峡を經由して、ロシア北極海側と中国・韓国等とを航行する船舶。
- ② これまで情報が少なかった北極海カナダ側航路(North West Passage)航行船舶を把握。貨物船1隻、客船1隻、調査船3隻、計5隻であり、客船については、平成26年10月に小樽港に寄港した北極圏クルーズ船舶。
- ③ 海氷が少ない8月中旬～10月にかけて航行が多く、砕氷船によるエスコートが無いことが判明
- ④ 本年の航行実態については現在分析中。



北極海ロシア側航路航行船舶の一例 (7,000GT級貨物船)



小樽港に入港するロストラル

北極海カナダ側航路航行船舶の一例 (11,000GT級客船ロストラル)